

鹿教湯病院に LSVT-BIG 目的に  
入院中もしくは過去に入院された患者様またはご家族の方へ  
当院における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2022 年 11 月 1 日

「Lee Silverman Voice Treatment (LSVT) BIG 目的の短期集中リハビリテーションはパーキンソン病患者の認知機能の改善に寄与するか」に関する臨床研究を実施しています。

鹿教湯病院研究委員会の承認を受け、病院長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	2022019
研究課題名	Lee Silverman Voice Treatment (LSVT) BIG 目的の短期集中リハビリテーションはパーキンソン病患者の認知機能の改善に寄与するか
所属(診療科等)	リハビリテーション部 理学療法科
研究責任者(職名)	須江 慶太(理学療法士)
研究実施期間	鹿教湯病院研究委員会による許可日～2027 年 11 月 1 日
研究の意義、目的	LSVT-BIG の認知機能改善に対する効果を明らかにすることを目的とした研究で、パーキンソン病の認知機能障害に対するリハビリテーションの方法の開発に貢献すると可能性が考えられます。
対象となる方	2018 年 1 月 1 日から 2027 年 11 月 1 日の期間にパーキンソン病を有し LSVT-BIG 目的で当院にて入院加療を受けられた方
利用する診療記録	年齢、性別、身長、体重、パーキンソン病の重症度(Hoen-Yhar 分類、改訂統一パーキンソンスケール)、罹患からの期間、ならびに LSVT BIG 前後の身体検査(歩行能力・バランス能力検査・筋力検査)と認知機能検査の診療記録
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、LSVT-BIG 前後の各種認知機能検査の変化を明らかにします。またどのような特徴の方が認知機能の改善につながりやすいかについて身体機能検査や年齢、性別、重症度といった基本情報も合わせその関係性を検討します。
共同研究機関名	本研究は、鹿教湯病院のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 須江慶太 (リハビリテーション部・理学療法士) 電話: 0268-44-2111

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。

**当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。**

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。データは研究終了後5年間保存後に削除いたします。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。